やまと文化の森だより

企画展のご案内

併設好評開催中!!　（最終日は 午後3時までの展示です）

6月の企画展・イベント
6/4（水）▶ 6/29（日）
〇ひのくにチェンソーカービングクラブ
　「チェンソーアート展」
〇糸のこのトイ展

7月の企画展・イベント
7/4（金）▶ 7/27（日）
〇第3回 出張！湯前まんが美術館in山都町
　球磨郡湯前町出身、痛烈な風刺漫画で知られる
　那須良輔の作品を展示します。同時に、
　楽しく学べる「学習マンガコーナー」も設置します。
〇上田幸洋「Smile」写真展

〇7/5（土）　7/6（日）
ハンドメイド＆ワークショップ・プティ・マルシェ

山都ウクレレシンガーズLive！Vol3
7/6（日）13：30開場　14：00開演
【入場無料 】
上田幸洋さん率いる山都ウクレレシンガーズのコンサートを行います。今回はジブリソング特集！ぜひお越しください。

問合　山都町下市16番地　☎ 72-9400　開館時間　9:00～17:00　入館無料
休館日　毎週月曜日（月曜日が祝日又は振替休日の場合は次の平日）、年末年始など

山の都移住すまいるセンター通信6月号

空き家バンク制度に登録された物件に対して活用できる補助金について

町の補助金が活用できます！

※空き家バンクに登録されている家屋が対象　※令和7年度時点

山都町空き家改修等支援事業補助金

空き家の改修　費用の4/5以内
引っ越し費用　上限額100万円

詳細はこちらから

※賃貸または売買の契約が整い、入居者が決定した空き家に対して
※諸条件あり

家財撤去支援事業補助金

家財の撤去費用　費用の1/2以内
上限額10万円

詳細はこちらから

※諸条件あり

町の空き家バンクに物件を登録することで、補助金が活用できます。令和7年度は空き家の改修や引っ越し費用を対象とした山都町空き家改修等支援事業補助金（費用の4/5以内、上限額100万円）と、家財の撤去費用を対象とした家財撤去支援事業補助金（費用の1/2以内、上限額10万円）を受付しています。空き家の利活用をお考えの方は、空き家バンクへの登録をぜひご検討ください。詳しくはホームページをご確認いただくか、山の都創造課までお問い合わせください。

問合　山の都創造課　☎72－1158

わたしたちの人権 243

誰もが人間として生きていくうえで侵すことのできない当然の権利これが『人権』です

人権作文の紹介（令和6年度）

今月は、
蘇陽南小学校4年　春木　杜宇子さんの作文をご紹介します。

ぼくのがんばり　わたしのがんばり

わたしたちは、中尾児童館に行き、中村のぶ子先生からへき画の話を聞きました。そのへき画は解放子ども会の人たちがかいた物です。わたしが一番心にのこったのは、勉強しているお母さんのことをかいた絵です。そのお母さんは子どものころ、家の仕事をしないといけなくて、字が読めず、お母さんになってから文字の勉強をがんばっていました。また、子どものころ、草を切る機械で右手を切ってしまいました。左手だけでよく字が書けたなあと思いました。わたしはいつも宿題を終わらせるのがおそくて、ぜんぜんがんばっていないなと思いました。だから早く宿題を終わらせようという意しきを持っていますが、なかなか早く終わりません。いつもおそくて、お母さんから

「ダラダラ勉強は、いかんよ。」

と言われます。わたしは、そう言われないように努力をして、わたしのお母さんやへき画のお母さんみたいに、たくさん勉強しようと思いました。

わたしは、お母さんに話を聞きました。お母さんはイギリスにりゅう学して、勉強をものすごくがんばったそうです。りゅう学の二年間の間に、さつ人事件が起こったり、バッグをぬすまれたのに、なくしたことにされたり、アジア人だからといってたたかれるなど、たくさん大変な思いをしたそうです。ほかにも大学のりょうに入る時に、白人の人だけ部屋が決まっていたそうです。これはアジア人に対する差別だと思います。けれども、二年間勉強をがんばって、賞も取ったそうです。

へき画の話を聞いたとき、中村のぶ子先生が

「みんなは差別する人？される人？」

と、わたしたちに聞かれました。だからわたしは、自分のことをふり返りました。わたしは、昼休みに仲良しの友達だけ遊びに入れて、きらいな友達は入れませんでした。わたしはそれはいけなかったなと思いました。なぜなら、わたしのお母さんが、イギリスで差別を受けてたたかれたことと同じだからです。きらい、好きで選ぶのではなく、だれとでも遊ぶようにしたいです。それから、遠足の前の日に、おべん当を二人で食べようと話していた人がいたので、わたしも入ろうかなと思って、二人に声をかけてみました。すると、

「え、無理」

と言われました。わたしはとてもいやでした。でもわたしは、

「あ、そうか。」

とだけ言いました。へき画の五年生のすごくおとなしいともちゃんは、いやなことに下を向いて、小さな声で「そんなのゆるさん。」としか言えませんでした。でも、大きな声で自分の気持ちを言えるように、アコーディオンでえんそうして、みんなで歌う練習をがんばりました。わたしも、ともちゃんみたいに大きな声で歌う練習をして、こういうときに、自分の考えを強く言えるようになりたいなと思いました。

人権学習の中で、わたしたちは、家族のことや自分のことを発表し合いました。自分がいやなことをされたことや、反対に友達にいじわるをしていたことも出し合いました。わたしは、四年生のクラスの中にも、決めつけや差別があったことに気づきました。わたしは、中尾解放子ども会の人たちみたいに、「おかしい」と思うことに、みんなで立ち向かい、差別をなくしていきたいと思いました。

自分の人権を守り
他人の人権を守る
責任ある行動を

©2010 熊本県くまモン